

UBS世界公共インフラ債券投信(通貨選択型)

■円コース(毎月分配型)／(年2回決算型) ■豪ドルコース(毎月分配型)／(年2回決算型) ■ブラジルリアルコース(毎月分配型)／(年2回決算型)
 ■南アフリカランドコース(毎月分配型)／(年2回決算型) ■トルコリラコース(毎月分配型)／(年2回決算型) [追加型投信／内外／債券]
 ■マネーボール(年2回決算型) [追加型投信／国内／債券]



毎月分配型 第36期決算のお知らせ

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、『UBS世界公共インフラ債券投信(通貨選択型)』各通貨コースの「毎月分配型」は、2012年9月25日に第36期決算を迎えました。当期の収益分配金につきましては、下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

■第36期分配金(1万口当たり、課税前): 2012年8月28日～2012年9月25日

円コース	40 円
豪ドルコース	110 円
ブラジルリアルコース	90 円
南アフリカランドコース	50 円
トルコリラコース	65 円

※上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金を示唆、保証するものではありません。

ブラジルリアルコース、南アフリカランドコースの分配金引き下げについて

主として金利水準の低下や為替の影響により軟調に推移しております基準価額動向を受け、分配原資の水準、運用実績および市況動向等を勘案し、今期より分配金をブラジルリアルコースは35円、南アフリカランドコースは20円引き下げることをご決定いたしました。

◎当期の市場動向

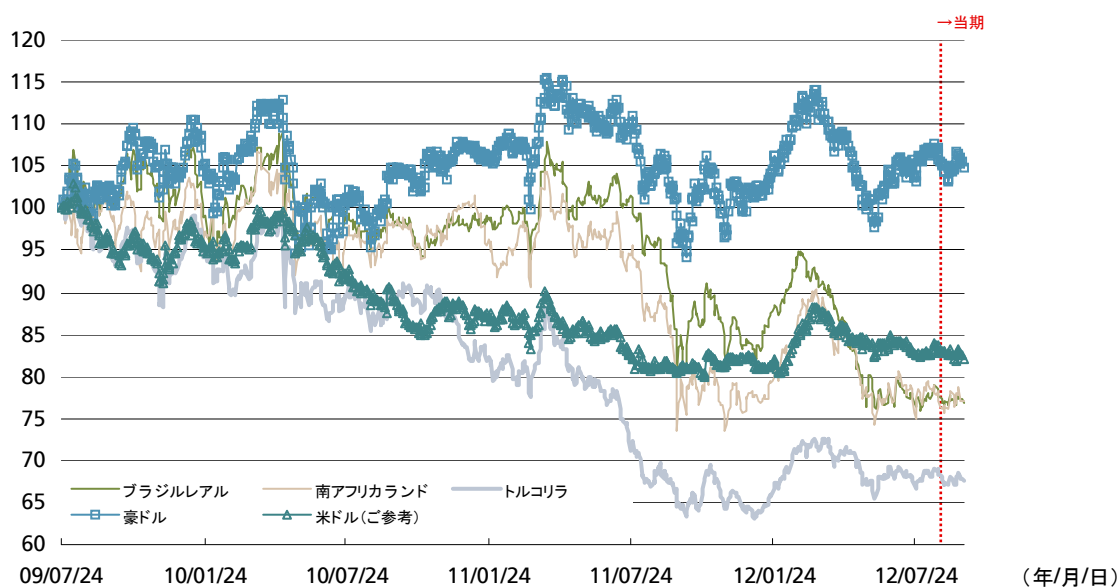
当ファンドの実質的な投資対象である公共インフラ債券市場は、当期、公益+0.24%、通信+0.55%、生活必需品▲0.23%、エネルギー+0.26%、運輸+0.14%となりました(円ヘッジベース)*。

*2012年8月23日～2012年9月21日におけるバークレイズ・グローバル総合社債インデックスの各セクターのパフォーマンス(表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。)

為替市場では、ヘッジ対象通貨は対円で概ね小幅に下落しました。期の前半、中国経済の減速や欧州債務危機への懸念などを背景に、ヘッジ対象通貨は総じて対円で下落しました。期の後半は、ドイツ憲法裁判所が欧州安定機構(ESM)の設立を合憲と判断したことなどによる欧州債務危機への懸念の緩和、米連邦準備制度理事会(FRB)による量的金融緩和第三弾(QE3)導入に伴う米国の景気回復期待の高まりなど

を背景として、市場のリスク選好が回復し、ヘッジ対象通貨は上昇に転じました。今期、豪州と南アフリカでは政策金利は据え置かれましたが、ブラジルでは利下げが行われました。トルコでは、主要政策金利である1週間物レポレートは据え置かれたものの、上限金利である翌日物貸出金利は引き下げられました。

■ご参考:各為替ヘッジ対象通貨の推移(対円)(指数化、スポット・レート/2009年7月24日~2012年9月24日)

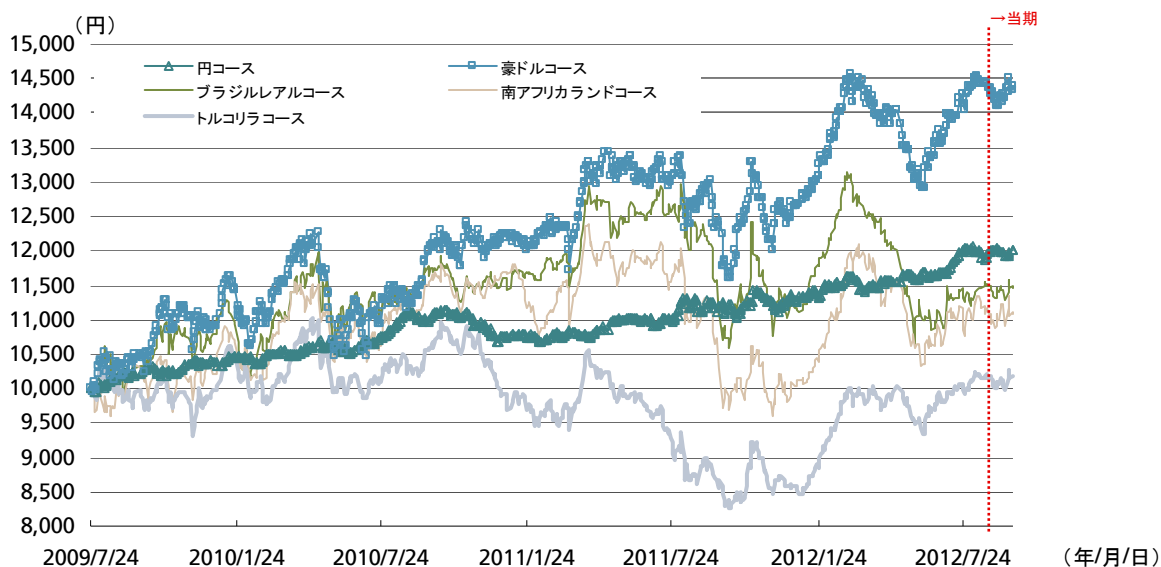


出所:ブルームバーグのデータを基に当社作成
上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◎当期の運用経過

以上を背景とし、当期の各コースのパフォーマンスは下記図表の通りとなりました。当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託における組入銘柄の平均最終利回りは、2012年7月末時点で2.93%、2012年8月末時点で2.89%となっています。

■各コース、設定来の基準価額(分配金再投資)の推移(2009年7月24日~2012年9月25日)



基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)した場合の価額です。基準価額の記載については全て信託報酬控除後としております。
上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

■第36期の各コース騰落率

円	0.11%
豪ドル	-0.27%
ブラジルレアル	-0.06%
南アフリカランド	0.19%
トルコリラ	-0.19%

※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

左記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

◎当ファンドの分配方針：

当ファンドは、毎月の決算時(原則として毎月25日、当該日が休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。分配金額は、分配原資の範囲内で、委託会社が継続した分配を行うための分配原資の水準、運用実績および市況動向等を勘案して決定します。また、毎年4月および10月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

今後とも「UBS世界公共インフラ債券投信(通貨選択型)」をご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

安定分配を目指す方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。分配金は分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「分配方針」をご覧ください。

Q. なぜブラジルリアルコースと南アフリカランドコースの分配金を引き下げたのですか？

A. ブラジル、南アフリカ金利の低下と、各通貨の下落による基準価額の低迷で、分配原資が減少したことから、分配金を引き下げることにいたしました。

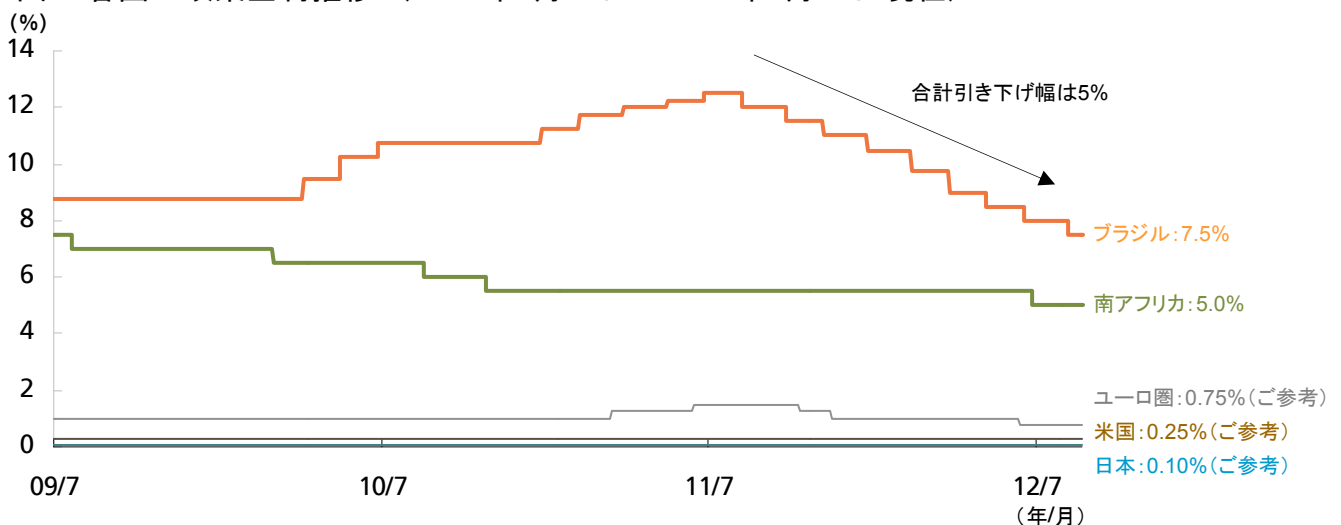
世界景気の先行き不透明感や欧州債務問題への懸念の高まりは、ブラジルや南アフリカ経済に影響を与える結果となり、各中央銀行は、国内の景気刺激を目的とし、政策金利を引き下げました(図1)。

金利低下に伴い、欧米との金利差も縮小することとなり、「為替ヘッジ・プレミアム」は減少しました。また、ブラジルや南アフリカと日本との金利差も縮小し、ブラジルでは当局の国内産業保護を狙ったリアル売り介入もあり、ブラジルリアル、南アフリカランドは、対円で大きく下落しました。(設定時比でブラジルリアル約23%、南アフリカランド約24%下落、図2)

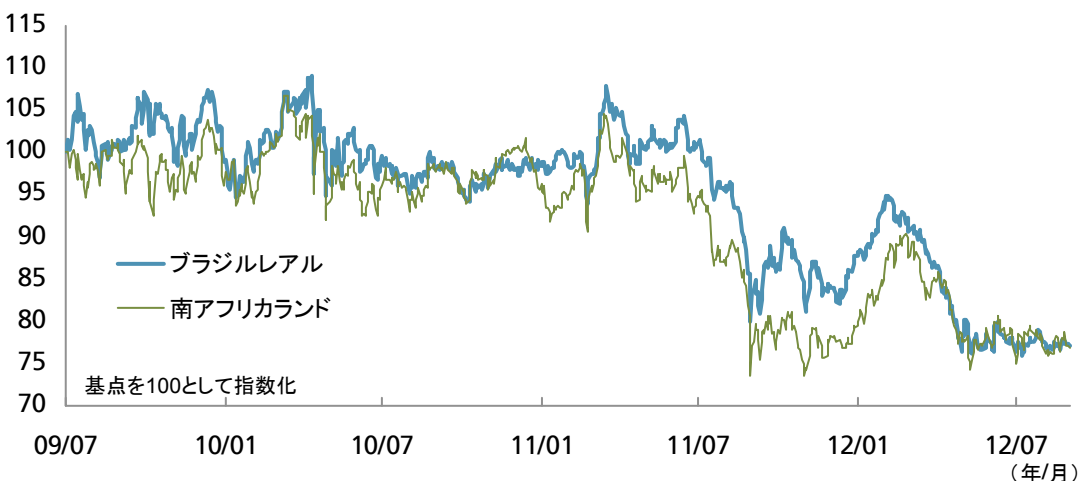
ブラジル、南アフリカの金利低下による「為替ヘッジ・プレミアム」の減少や、ブラジルリアル、南アフリカランドの下落等による基準価額の低迷を背景に、各ファンドの利息収入等は減少しました。

上記の結果、毎月の分配金は、利息収入等を越えて過去の収益の繰越部分からお支払いする状況が続き、分配原資は減少することとなりました。これらの状況を踏まえ、分配金を引き下げることにいたしました。

■ 図1: 各国の政策金利推移 (2009年7月24日～2012年9月24日現在)



■ 図2: 設定来の為替(対円)の推移 (2009年7月24日～2012年9月24日現在)



Q. ブラジルおよび南アフリカの経済動向は？

A. 今後の金利動向は、両国とも利下げ含みの見方が大勢ですが、ブラジルは政府の機動的な対応が経済を下支えすることが見込まれています。

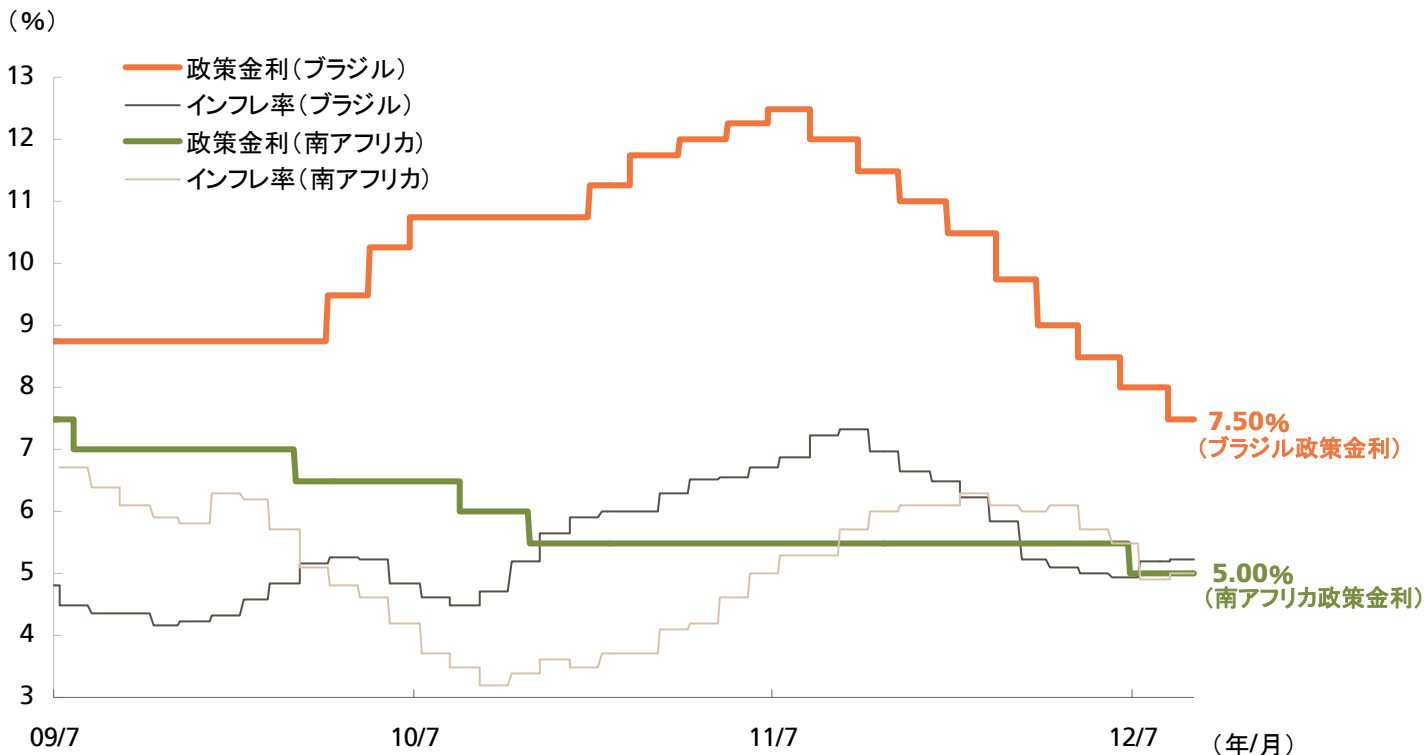
ブラジルは、8月に政策金利である基準金利を0.50%引き下げ、過去最低水準となる7.50%とすることを決定しました。南アフリカでも7月に政策金利が引き下げられています。

市場では、ブラジルでは今後利下げが追加で行われるとの見方が優勢ですが、これまでより小幅な利下げとなるものとみられています。一方、南アフリカは、インフレ懸念を理由に、9月の決定会合では政策金利は据え置かれました。

ブラジル政府は国内経済の活性化を政策の優先課題とし、金融緩和に加え、さまざまな景気刺激策を導入しています。直近では、民間企業を巻き込み大型インフラ・プロジェクト計画が発表されました。また、2013年1月より電気料金が企業向け、一般顧客向けに引き下げられることとなり、高水準の製造コストの低減を通じて、インフレ率が抑制されることが期待されています。

一方、南アフリカについては、インフレ懸念が燻っていることから、金融緩和面での経済刺激効果は限定される可能性も指摘されています。

■政策金利とインフレ率(前年比)の推移 (2009年7月24日～2012年9月24日)



ブルームバーグを基に当社作成

Q. 今後の社債の見通しとファンドの運用方針を教えてください。

A. 各国中央銀行による積極的な危機対応や、インフレが安定的に推移していることが、社債市場を下支えすると考えられます。安定性がありスプレッドが比較的高い社債に対する需要は依然堅調です。

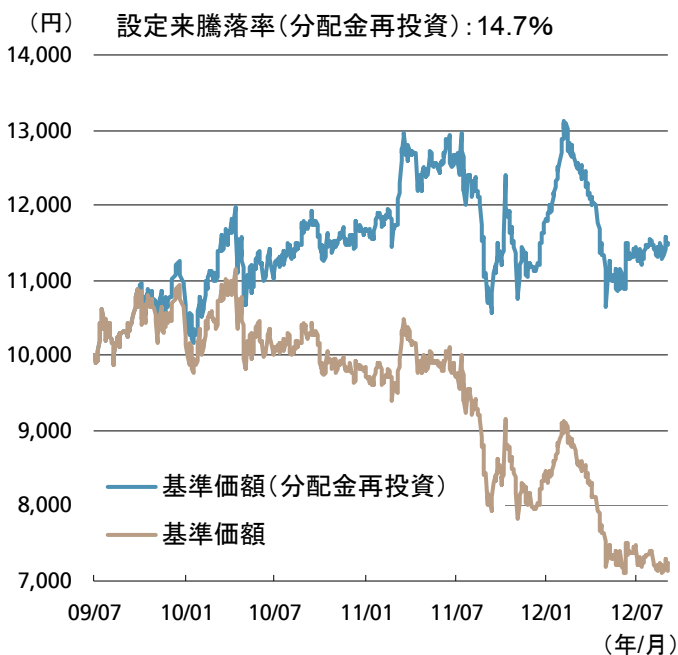
当ファンドの実質的な投資対象である社債市場は、8月は市場の過度なリスク回避姿勢が後退したことからスプレッドが縮小し、欧州と米国において堅調に推移しました。特に欧州のパフォーマンスは良好な内容となりました。欧州では、欧州中央銀行(ECB)に対してユーロ圏の全銀行を一元的に監督する権限を与える案などが検討されています。各国の中央銀行が世界的な経済危機に対して積極的な対応をとっていること、インフレのリスクが十分に抑制されていることなどが社債市場を今後、下支えするものと思われれます。

各国において経済成長の下方修正が相次ぐ中、安定性がありつつもスプレッドが比較的高い社債に対する需要は依然堅調です。直近では、ファンダメンタルズよりも各国の政府高官や中央銀行による声明などによって社債市場の動きが左右される傾向にあります。

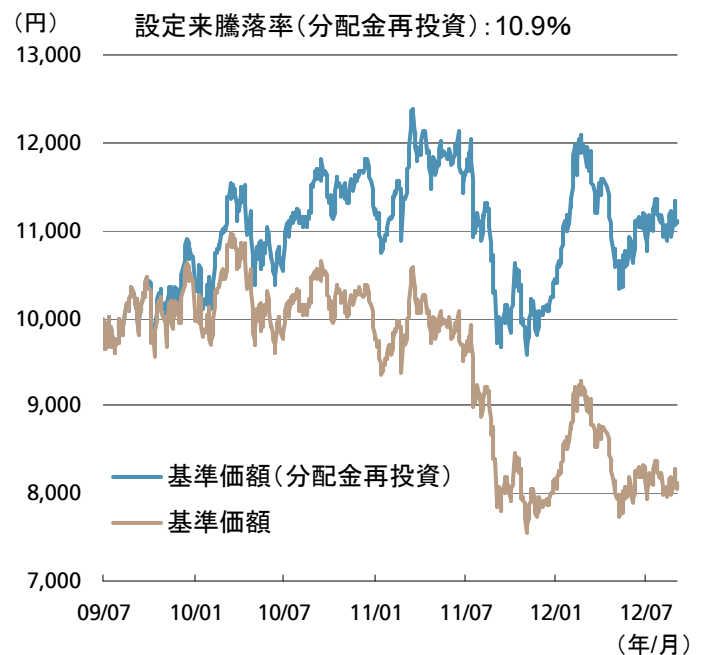
こうした状況下、今後も公共インフラ債券の中で魅力ある個別銘柄の選択に引き続き重点をおいてまいります。

■ 設定来の基準価額の推移 (2009年7月24日～2012年9月25日現在)

「ブラジルリアルコース毎月分配型」



「南アフリカランドコース毎月分配型」



基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)した場合の価額です。基準価額の記載については全て信託報酬控除後としております。上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

■グローバル・ディフェンシブ・セクター・コーポレート・ボンド・ファンドのポートフォリオの状況

※グローバル・ディフェンシブ・セクター・コーポレート・ボンド・ファンドは、当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託です。

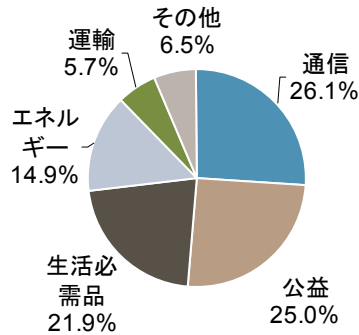
[2012年8月末現在]

ポートフォリオの特性

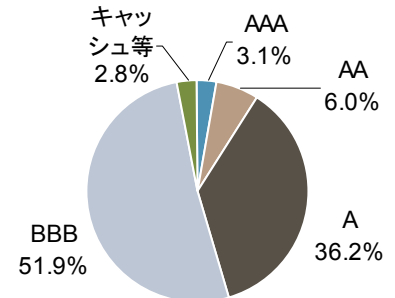
平均直接利回り	4.28%
平均最終利回り	2.89%
平均格付	A-
修正デュレーション	7.24年
組入銘柄数	379

上記は、当該外国投資信託の債券部分について、各組入れ債券を各特性値(利回り、格付、デュレーション)別に集計し、加重平均により算出しています。平均格付とは、基準日時点で外国投資信託が保有している有価証券に係る信用格付であり、外国投資信託に係る信用格付ではありません。

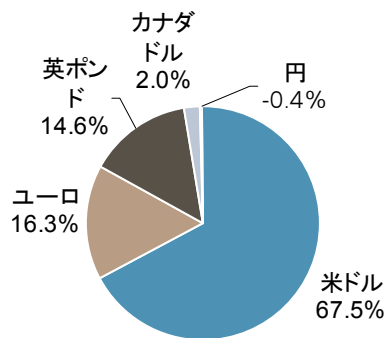
■業種別構成比



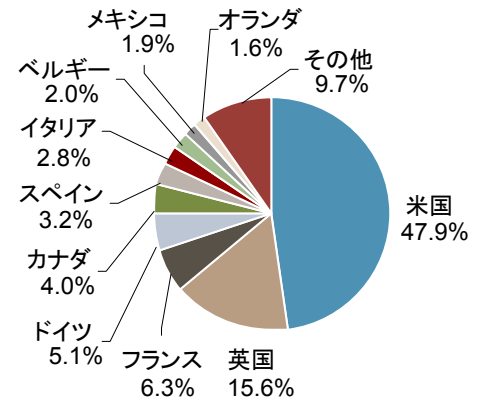
■業種別構成比



■通貨別構成比



■国別構成比



※各構成比は、当該外国投資信託の評価額合計(キャッシュ、先物等含む)に占める割合です。なお、各比率の合計は端数処理の関係上100%とならない場合があります。

※業種は、当ファンドの運用方針に基づき当社が独自に分類したものです。

※格付はS&P、ムーディーズ、フィッチ・レーティングスの3社の格付機関による格付のうち2社以上で合致した評価を採用しています。2社以上で合致した評価がなく、3社で評価が異なる場合はそれらの中間の評価を採用しています。ただし、取得できる格付が2社のみの場合は、低い格付を採用しています。

ファンドの主なリスク

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動きによる影響(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドにかかる主なリスクは次の通りです。ただし、すべてのリスクについて記載されているわけではありません。

各ファンド共通(「マネープール」を除く)

■ 公社債に関する価格変動リスク

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて公社債への投資を行います。公社債の価格は、主に金利の変動(金利変動リスク)および発行体の信用力の変化(信用リスク)の影響を受けて変動します。公社債の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。公社債の価格の変動幅は、公社債の償還までの残存期間、発行体の信用状況などに左右されます。

■ 為替変動リスク

「豪ドルコース(毎月分配型)／(年2回決算型)」、「ブラジルリアルコース(毎月分配型)／(年2回決算型)」、「南アフリカランドコース(毎月分配型)／(年2回決算型)」、「トルコリラコース(毎月分配型)／(年2回決算型)」

投資対象である外国投資信託の組入資産について、原則として対各関連通貨(*)で為替ヘッジを行いますので、基準価額は当該関連通貨(*)の為替変動の影響を大きく受けます。また、完全に対当該関連通貨(*)で為替ヘッジすることはできませんので、当該組入資産に係る通貨の為替変動の影響を受ける場合もあります。当該関連通貨(*)金利が当該組入資産に係る通貨の金利より低い場合は、その金利差相当分のコストがかかり、基準価額の変動要因となることがあります。

「円コース(毎月分配型)／(年2回決算型)」

投資対象である外国投資信託の組入資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図っております。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできませんので、基準価額は円と当該組入資産に係る通貨との為替変動の影響を受ける場合があります。また、円金利が当該組入資産に係る通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のコストがかかり、基準価額の変動要因となることがあります。

(注)文中の(*)については、下記の表よりそれぞれ当てはめてご覧ください。

豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース	トルコリラコース
* 豪ドル	ブラジルリアル	南アフリカランド	トルコリラ

■ カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、運用方針に沿った運用が困難となったりする場合があります。

「マネープール」

■ 金利変動リスク

公社債の価格は金利変動によって変動します。一般的に公社債の市場価格は、金利が低下した場合には上昇する傾向となり、逆に金利が上昇した場合には下落する傾向があります。

■ 信用リスク

ファンド資産を公社債およびコール・ローン等の短期金融商品で運用する場合、取引相手方による債務不履行により損失が発生する可能性があります。

「その他の留意点」・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

■ 分配金に関する留意点

分配金は計算期間中に発生した信託報酬等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)を超過して支払われる場合がありますので、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金はその支払いの一部ないし全てが実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。また、ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。なお、分配金の支払いは純資産総額から行われますので、分配金支払いにより純資産総額は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

■ 外国投資信託の組入資産について為替ヘッジを行う際、一部の新興国においては通貨の受渡に制約があるため、NDF※(ノン・デリバラブル・フォワード)を用いる場合があります。NDFの取引価格の値動きと実際の為替市場の値動きは、需給動向や規制等の影響により、大きく乖離する場合があります。その結果、投資成果は、実際の為替市場や金利市場の動向から理論上期待される水準と大きく乖離する場合があります。また、市場規模の縮小や当局の規制等によりNDFが利用できなくなった場合、ファンドの投資方針に沿った運用ができなくなる場合があります。※NDFとは、新興国の通貨を売買する際に利用される直物為替先渡取引の一種で、主に金融機関と相対で取引されます。NDFにおいては当該国通貨の受渡が発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済されます。

ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込メモ

購入単位	1万円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示、当初元本=1口1円)
購入代金	購入申込受付日から起算して7営業日目までに販売会社にお支払いください。
換金単位	1円以上1円単位
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。「マネープール」には信託財産留保額はありません。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として販売会社の営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
購入・換金不可日	ロンドン証券取引所もしくはニューヨーク証券取引所の休業日またはロンドンの銀行もしくはニューヨークの銀行もしくはルクセンブルグの銀行の休業日と同日の場合および12月24日には購入、換金の申込の受付は行いません。(ただし、「マネープール」の換金申込を除きます。)
購入・換金申込受付の中止および取り消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは購入・換金申込の受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込を取消することがあります。
信託期間	2009年7月24日～2018年10月25日
繰上償還	純資産総額が各ファンド30億円(「マネープール」は100万円)を下回ることとなったとき、信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、各ファンドが繰上償還となります。
決算日	[毎月分配型]原則として毎月25日 [年2回決算型]原則として毎年4月25日および10月25日 ※休業日の場合は翌営業日
収益分配	[毎月分配型]毎月(年12回)の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。(再投資可能) [年2回決算型]年2回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。(再投資可能)
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度および配当控除の適用はありません。

ファンドの費用

当ファンドの購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料 購入申込日の翌々営業日の基準価額に、以下の手数料率を乗じた額とします。
(購入時手数料=購入口数×基準価額×手数料率)

購入口数	手数料率	
	スイッチング以外による購入	スイッチングによる購入
1億口未満	3.15%(税抜3.0%)	1.575%(税抜1.5%)
1億口以上5億口未満	1.575%(税抜1.5%)	0.7875%(税抜0.75%)
5億口以上	0.525%(税抜0.5%)	0.2625%(税抜0.25%)

(「マネープール」へのスイッチングには購入時手数料はかかりません。)

信託財産留保額 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。
(「マネープール」には信託財産留保額はありません。)

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬) [各ファンド(「マネープール」を除く)]日々の純資産総額に**年率0.924%(税抜年率0.88%)**を乗じて得た額とします。また、ファンドが投資対象とする投資信託証券の管理報酬等がファンドの純資産総額に対して年率0.7%程度(委託会社が試算した概算値)がかかります。したがって、ファンドの信託報酬に加えた基本となる報酬率は、実質的にはファンドの純資産総額に対して**年率1.624%程度**となります。
[「マネープール」]日々の純資産総額に年0.5775%(税抜年0.55%)を上限とする率を乗じて得た額とします。
(2012年5月末現在、**年率0.07875%以内(税抜年率0.075%以内)**)

その他の費用・手数料 監査報酬および法定手続き(書類の作成、印刷、交付等)に関する費用など(日々の純資産総額に対して上限年率0.1%(「マネープール」は上限年率0.05%))を間接的にご負担いただく場合があります。
※原則として、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。
信託財産に関する租税、組入有価証券の売買委託手数料、外国での資産の保管費用などが、原則として費用発生の都度、ファンドから支払われます。
※信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。

投資者の皆様にご負担いただく手数料などの合計額は保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの関係法人

委託会社	UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号 加入協会:社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	野村証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号 加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、運用状況に関する情報提供を目的として、UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社によって作成された資料です。投資信託は値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本は保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なり、元本は保証されておらず、投資した資産の減少を含むリスクがあることをご理解の上、購入のお申込をお願いいたします。投資信託は預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関を通じてご購入頂いた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。本資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料の中で記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

© UBS 2012. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。